

学校図書館だより



2016年1月22日
横浜市立森の台小学校
校長 田中 公明
図書主任 清水あゆみ
学校司書 近江弥穂子

No. 9

先週の中休み、図書室の前を通りかかると、珍しく子どもの姿がほとんど見られなかったので驚きました。すぐに、長縄週間だからだと気がきましたが、子どもたちのいない図書室は不思議な感じがしました。その分、昼休みの図書室は、多くの子どもたちで賑わっていて、図書室を楽しみにしているのだなと嬉しく思いました。冬は寒さのため、部屋の中で過ごすことも多いです。テレビやゲームもいいですが、ゆったりと本を読む時間を作ってほしいなと思います。たまには、家族そろって読書する時間を作ってみてはいかがでしょうか。

がっこうとしょかん 学校図書館からのお知らせ

- 本をかえす日を守りましょう。
- 学年貸出しの本をていねいにあつかいましょう。

先生のおすすめ本

竹内先生 (3-2)	田後先生 (3-3)	空閑先生 (3-4)	稲村先生 (3-5)
「そして5人がいなくなる」	「なぞなぞのみせ」	「数の悪魔」	「てびくろ」
はやみねかおる文	石津ちしろ文	エンツェンスベルナー文	ウクライナ民話

学校図書館にあります

学区図書館にあります

学区図書館にあります

小学校の先生だった
はやみねかおるさんは、
子ども達を夢中にさせる
本を探すうちに自ら
書き始めたそうです。
物忘れ名人、マイペース
な名探偵による笑いあ
りの謎解きミステリー
です。きっと夢水清志郎
(教授)がみんなを幸
せにします。

洋服屋さん、文房具屋さん、
時計屋さん、手芸屋さん、
八百屋さん、本屋さん、ケ
ーキ屋さん、薬屋さん、お花
屋さん、それぞれの店で買い物
をする主人公。それぞれのペ
ージにその店の絵を見て答
えるなぞなぞがあり、わくわ
くします。50問中何問正解
できるかな？レッツチャレ
ンジ！！

算数がきらいな男
の子の、夢の中で出
てくる「悪魔」との数
や図形についてのふ
しぎなお話。ほとん
どが登場人物同士
のお話で書かれて
いて、とっても読み
やすい算数の魔法の
本です。

寒いさむ～い季節がやっ
てきました。おじいさんが落
とした手袋にねずみやかえ
る、うさぎがやってきて「こ
こで暮らすことにするわ。」
と話します。いったい次は
誰がこの手袋に入ってくる
のか。とても心温まるお
話です。

トピックス ～三島由紀夫（みしまゆきお）～

三島 由紀夫（本名：平岡 公威）は戦後の日本文学界を代表する作家であり、その作品は広く世界でも認められています（日本人で初めてノーベル文学賞を受賞したのは川端康成ですが、三島も最終選考の一步手前まで候補として残りました）。三島は1925年（大正14年）に東京で生まれました。父、祖父ともに東大から官僚という人生を歩んだこともあり、三島自身も東大から大蔵省（現在の財務省）に入省しましたが、ほどなく退官し作家生活に入ります。代表作は小説に『仮面の告白』『潮騒』『憂国』など、戯曲に『鹿鳴館』『サド侯爵夫人』などがあります。その作品は、言葉が効果的に巧みに使われ、美しく詩的な文体であり、美しさを最高の価値とした作風が特徴です。晩年は政治的なことにより関心を持ち、祖国防衛を自指した民兵組織「楯の会」を結成して、独自の祖国防衛論を展開しました。1970年（昭和45年）11月25日、三島は楯の会隊員4名と共に自衛隊市ヶ谷駐屯地（現・防衛省本省）を訪れ益田総監を人質にして総監室にたてこもる事件を起こしました（三島事件）。三島は本館バルコニーから自衛隊員にクーデターをおこすように演説をしたものの、当然のごとく隊員に断られたので、激しく怒り、割腹自殺を遂げました。翌年1月24日に、築地本願寺で告别式が行われましたが、8200人以上の一般会葬者が参列に訪れ、文学者の葬儀としては過去最大のものになりました。葬儀委員長は三島とノーベル賞を競い、また三島の尊敬する川端康成でした。

学校図書館には『潮騒』があります。是非手にとってみてください。

今月のおすすめの本

「リバウンド」

E・ウォルターズ作

「チキチキバンバン」

イアン・

フレミング作

「ありのフェルダ」

オンドジェイ

セコラ作

「大事なものはシュートして得点を稼ぐことだけじゃない、失敗したシュートを次にどう決めるかだ！」…カナダのとある町に去年引っ越してきたショーンと、今年引っ越してきた車いすのデービット。出会いは最悪だった2人の共通点はバスケットボールが好きなことで・・・

冒険家で発明家のポッツさんは廃車置き場のオンボロ車を手に入れた。あり合わせの材料でなんとか走れるようにして、「チキチキバンバン」と名付けると、この車、なんと魔法の車になったんです。どんな魔法が使えるのでしょうか・・・

「ぼくはありのフェルダです。なんでも屋です。家も建てるし、修理もするし、配達もします。ご注文があれば何でもします。」ありのフェルダは、陽気で明るくて親切で器用で仕事も早い。ちょっとお調子者だけど、いつも前向きな人気者です!!

編集後記

学校が始まった1月7日の中休み、「あけましておめでとうございます」と元気に挨拶をしながら沢山の児童が学校図書館にきてくれました。図書館に設置したクイズを早速見つけて手がかりになりそうな本を探してクイズに挑戦してくれたり、冬休み中に全部読み切れなかったからともう一度同じ本を借りていってくれたり、ゆっくり本を読んだり、いろいろな形で学校図書館を利用してきています。2月には図書委員が今年度の人気貸し出しランキングなどの掲示や、児童の皆さんの読書のきっかけになるような読み聞かせを企画しています。楽しみにしてください。今年度もあと2か月ほどとなりましたが、どうぞよろしくお願ひいたします。

学校司書 近江